

# 関川村商工会景況調査報告書

組織番号	4
商工会名	関川村商工会
報告者名	櫻井 俊行

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 関川村商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 平成29年7月～平成29年12月  
(調査時点 平成29年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	6	20.0%	6	20.0%
建設業	4	13.3%	4	13.3%
卸・小売業	8	26.7%	8	26.7%
サービス業	12	40.0%	12	40.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

### 地区内景況のコメントする

全て小規模事業者を対象に行った調査となった。売上は不変あるいは減少と答える事業者が多かった。また採算についても、調査対象期間やその直前期の前年よりも、好転したと答える企業は、0件であった。もっとも調査対象となる期間の前年には、村内養鶏場で鳥インフルエンザが大流行している。11月28日発生、鶏の殺処分や消毒などを行い翌月28日移動制限を解除している。この風評被害で年末年始の村内への客足は大きく落ち込み、旅館・飲食業それらの業種にモノを提供する卸・小売などに打撃があったものである。しかし、これに対して翌年度の反動増などはあまり見られなかった。少子高齢化による人口減少の問題は、当村においては深刻であり、加速的に経済力を失うものとなっている。

### 【後継者の状況】

#### 後継者状況をコメントする

いると答えた企業が調査対象の60%。なしと答える事業所は40%となっている。

後継者 あり	18事業所	60.0%
後継者 なし	12事業所	40.0%

### 【売上高】

#### 地区内事業者の売上に関するコメントする

前年同期・直前期ともに減少したと答える事業者が一番多かった。今後の見通しは変わらないとする見方が一番多く、続いて減少するが多くなっている。全体的にまだ見通しを明るく見ていないのが実情であった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
2	10	18

#### 前期比

増加	不変	減少
0	8	22

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
4	16	10

### 【採算】

#### 地区内事業者の採算性についてコメントする

採算が悪化したとみる事業者が多かった。今後の見通しは変わらないとみる方が一番多く、続いて減少する方が多くなっている。販管費の切り詰めで今後の見通しを明るくしていこうという流れが感じ取れた。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	8	22

#### 前期比

好転	不変	悪化
0	10	20

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
4	16	10

### 【仕入単価】

#### 地区内事業者の仕入状況をコメントする

仕入単価は上昇したとみる事業者が多かった。特に旅館・飲食店・土産店などに多く見られ、荒利を圧迫してとの声をよく聞いた。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
12	16	2

#### 前期比

上昇	不変	低下
10	18	2

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
10	16	4

### 【販売（客）単価】

#### 地区内事業者の客単価等をコメントする

販売（客）単価は、上昇はごく少数で、不変と低下が大多数の結果となっている。小売品については、隣接の村上・胎内市内にある同業者や大型店を含んだ商業集積へ買い物客が流れて、客単価の上昇を実現できていない。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
2	16	12

#### 前期比

上昇	不変	低下
2	18	10

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
2	18	10

### 【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。  
 資金繰りについては、不変または悪化がほとんどで、今後の見通しも暗いようである。ただ旅館や飲食店の一部では、鳥インフルエンザの風評の収まりから、経営環境の改善が期待されるという意見もあった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	18	12	2	14	14	4	18	8

### 【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする  
 雇用については不変が一番多いが、それは小規模事業者の多くは、これまでもこれからも家族人員のみで事業を切り盛りしている方が多いため結果である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	10	0	0	12	0	4	10	0

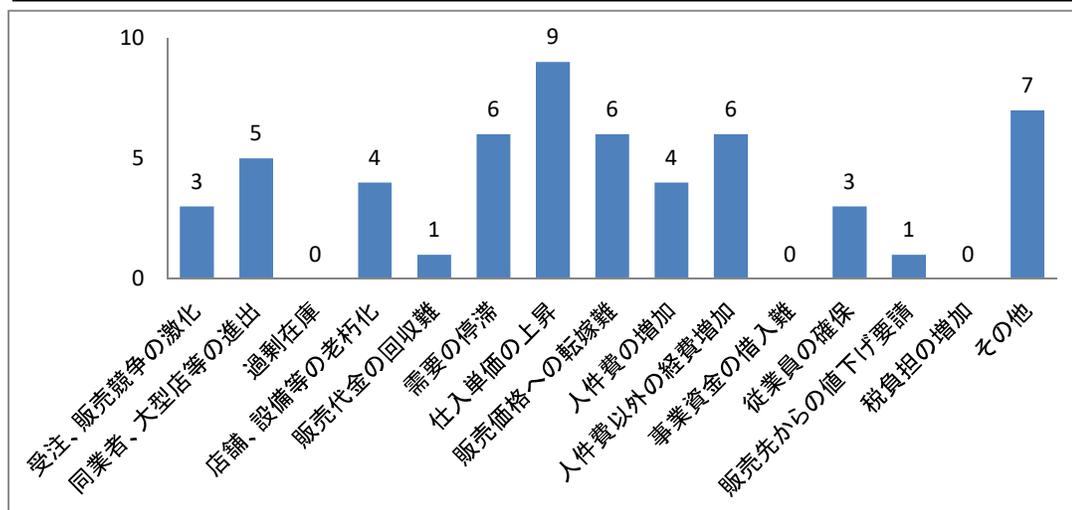
### 【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする  
 前年同期・直前期ともに回復したと答える事業者はいなかった。人口減少・高齢化により地元購買力は上がっていない。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	18	12	0	20	10	4	16	10

### 【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする  
 仕入単価の上昇を気がかりとする方が多くいた。また域内需要の停滞で販売価格への転嫁も難しいなど経営にダブルパンチのようである。得意客へのさらなるアプローチや行政サイドとも連携するなどし、都市部からの入込み客を増やすなどの政策も必要となっている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

地区内製造業に係る景況状況をコメントする

この期間、悪化と回答する事業者が多くいて景気回復したとは言い難い。経営上の問題点として、需要の停滞をあげる方が多く、今後の見通しにいたっても不変を予想している。全体的に景気の停滞感が強くなっている。

#### (2) 建設業

地区内建設業に係る景況状況をコメントする

建設業においては、地区内の需要の減少から売上・採算面への悪影響が今後も懸念される。工事材料の上昇なども先の見通しの中で示しているため、景気判断は他業種に比べて一段と厳しいものがある。

従業員の高齢化による次の代を担う若手や中堅社員の教育にも、十分な時間を割かなければならない頃となっている。

#### (3) 卸・小売業

地区内卸、小売業に係る景況状況をコメントする

地区外の同業者・大型店等の進出が目立つ。地区外の事業者の営業戦略やその攻勢により、お客様にとって地区外の比較優位がしばらく続いている。それにより競争が激しく、村内事業者の売上の上昇やその先の利益改善するまでに至っていない。努力による営業網の拡大と村内においてはあらゆるニーズにいち早く気づいて機敏な対応をすることの重要性が感じられる。

#### (4) サービス業

地区内サービス業等に係る景況状況をコメントする

景気判断では、前年同期・直前期に好転したとした事業所はなく、経営環境は厳しい模様だ。店舗・設備の老朽化が進み、従業員の確保難、仕入単価の上昇などに問題点を見る事業所が多くなっている。

観光業のお客様数の入込減に対応して、官民あげて限りある経営資源をどのように有効活用するなどの振興策を練り上げていく時期にさしかかっている。

また後継者の事業承継問題にも主体的な取り組みをして円滑に次代に経営権を移行していく時期ともなっている。